

令和3年度 小松市予算のあらまし



市民と共に進める 次世代都市こまつへ

もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 令和3年度の予算はいくら？	2
3. どんな収入があるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	9
6. 貯金はいくらあるの？	9
7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？	10
8. 主な施策の概要	11

1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決を経て決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

Q. 年の途中で予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初予算と同じく市議会の審議・議決を経て変更します。

Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。

年度が終わった後、会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）が決算書を作り、市長が市議会の認定を受けます。

2. 令和3年度の予算はいくら？

令和3年度は、令和3年3月に市長選挙を控えていたため骨格予算となった当初予算と、4月・6月補正予算を合わせた予算が通年予算となります。

Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計	489億1,410万円	(前年度比 +30億4,410万円 6.6%増)
特別会計	323億5,960万円	(前年度比 + 3億5,810万円 1.1%増)
企業会計	219億7,740万円	(前年度比 + 6,890万円 0.3%増)
全会計	1,032億5,110万円	(前年度比 +34億7,110万円 3.5%増)

【内訳】

(単位：百万円)

		3年度	2年度	増減額	増減率
一	般 会 計	48,914.1	45,870.0	3,044.1	6.6 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	9,982.0	10,254.0	△ 272.0	△ 2.7 %
	介 護 保 険	10,140.3	10,127.0	13.3	0.1 %
	公 債 管 理	9,837.3	9,069.2	768.1	8.5 %
	産 業 団 地	755.0	965.3	△ 210.3	△ 21.8 %
	後 期 高 齢 者 医 療	1,645.0	1,586.0	59.0	3.7 %
	小 計	32,359.6	32,001.5	358.1	1.1 %
企 業 会 計	水 道	3,540.7	3,244.6	296.1	9.1 %
	下 水 道	8,844.7	8,692.9	151.8	1.7 %
	病 院	9,592.0	9,971.0	△ 379.0	△ 3.8 %
	小 計	21,977.4	21,908.5	68.9	0.3 %
合	計	103,251.1	99,780.0	3,471.1	3.5 %

△はマイナスを表しています

Q. 予算の特徴は？

一般会計・・・歳入（収入）では、市税（税金）が法人・個人市民税の減収見込や中小事業者の固定資産減免措置などにより前年度比15.4億円の減となっています。

一方で、市税減収等の影響により普通交付税と臨時財政対策債を合わせた実質普通交付税が前年度比14.7億円の増となっています。

歳出（支出）では、認定こども園の運営や障がい者・高齢者福祉施策など社会保障にかかる扶助費が前年度比7.3億円の増、コロナ対策等により補助費等が前年度比9.5億円の増となり、全体で前年度比30.4億円の増となりました。

特別会計・・・国民健康保険は、被保険者数の減少見込により前年度比2.7億円の減となり、

介護保険、後期高齢者医療は、高齢化の伸展により増加しています。

公債管理は、ほっと石川観光ファンドに出資するために借りていた市債償還などにより前年度比7.7億円の増となっています。

企業会計・・・水道は、配水管布設の拡張等により前年度比3億円の増となっています。

市民病院は、R2年度が放射線治療装置更新により事業費増加となっていたため、R3年度は前年度比3.8億円の減となっています。

3. どんな収入があるの？

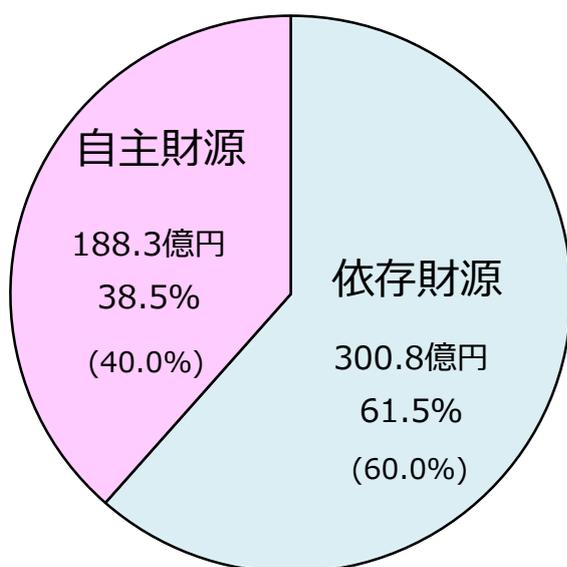
自主財源	市税	皆さんが納めた税金です。	145.2億円
	負担金や使用料	施設の使用料や保育料などです。	7億円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	11.8億円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	24.3億円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	127.6億円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するために国や県から	70.8億円
	譲与税・交付金	交付されるお金です。	43.2億円
	市債	銀行などから借り入れる市の借金です。	59.2億円
合 計			489.1億円

Q. 自主/依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に集めることができる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。

令和3年度予算 自主・依存財源割合



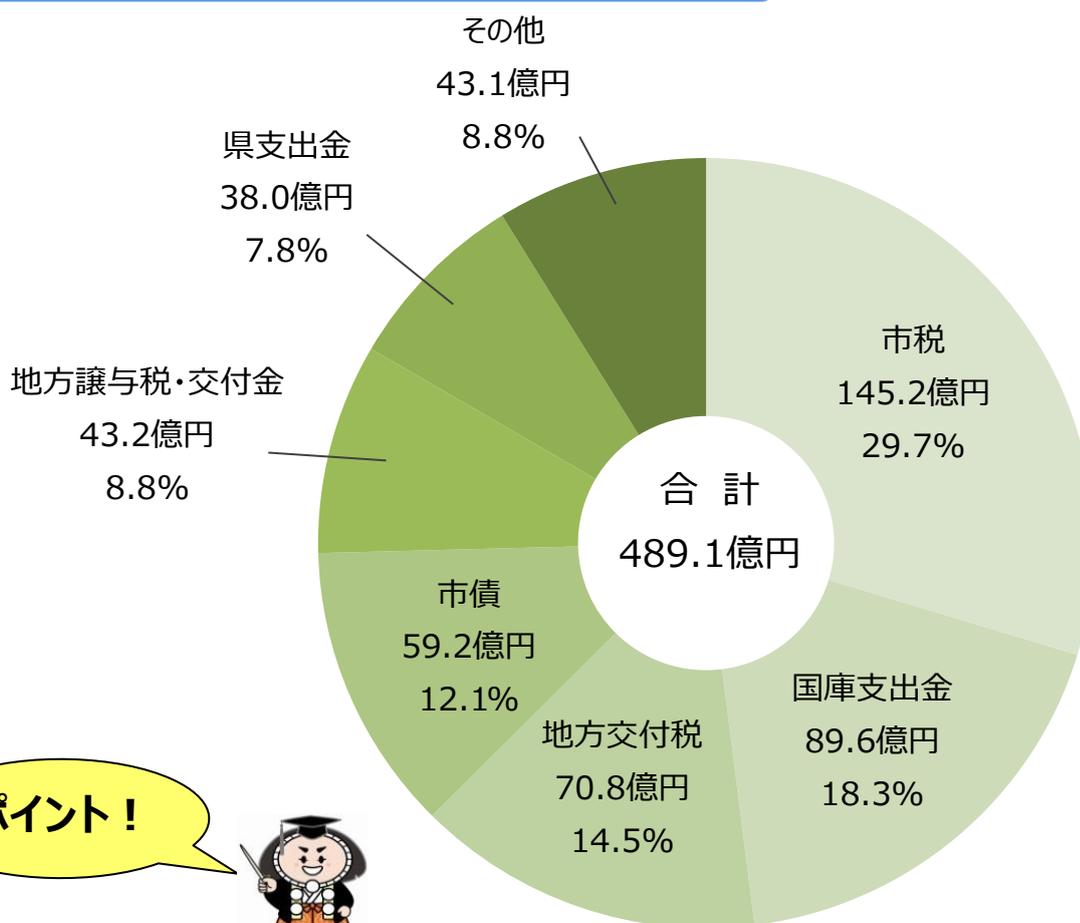
ポイント！

小松市の一般会計の収入のうち、
約4割が「自主財源」です。
約6割が「依存財源」です。



※()内は、前年度の数値

Q. 一般会計収入の内訳は？



ポイント！



- 市民の皆さんが納める税金が、収入の約30%を占めます。
- 地方交付税は70.8億円で、前年度比3億円の増となっています。
- 地方譲与税・交付金では、コロナ禍における固定資産税・都市計画税の減免措置により地方特例交付金が5.5億円増加しますが、地方消費税を始めとする各種交付金が減少し、全体では4.9億円の増となっています。
- 国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のほか、こまつドーム改修等の補助事業の実施により、4.5億円の増となっています。
- 市債は臨時財政対策債の増加により12.5億円の増となっています。

・市税の内訳

項目	金額 (億円)	対前年比
・固定資産税 (土地や家屋を所有している人が納めます)	64.3	△ 7.3%
・個人市民税 (所得に応じて納めます)	54.7	△ 8.9%
・法人市民税 (会社の利益に応じて納めます)	7.6	△ 33.9%
・軽自動車税 (軽自動車を持っている人が納めます)	3.1	+ 1.3%
・市たばこ税 (タバコを買った人が納めます)	6.3	△ 5.2%
・その他 (入湯税や都市計画税)	9.2	△ 7.3%

・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

・国庫支出金	89億6,325万円	↗
・県支出金	37億9,943万円	↗

・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

・普通交付税	64億円	↗
・特別交付税	6億8,000万円	↗

・各種交付金の内訳

・利子割交付金	1,900万円	↗
・配当割交付金	5,600万円	↗
・株式等譲渡所得割交付金	6,100万円	↗
・法人事業税交付金	2億2,500万円	↗
・地方消費税交付金	25億5,700万円	↗
・ゴルフ場利用税交付金	4,500万円	↗
・環境性能割交付金	3,500万円	↗
・地方特例交付金	6億5,400万円	↗
・交通安全対策特別交付金	1,200万円	↗
・国有提供施設等所在市助成交付金	3億円	↗

・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

・自動車重量譲与税	2億4,000万円	↗
・航空機燃料譲与税	900万円	↗
・地方揮発油譲与税	8,500万円	↗
・森林環境譲与税	2,500万円	↗

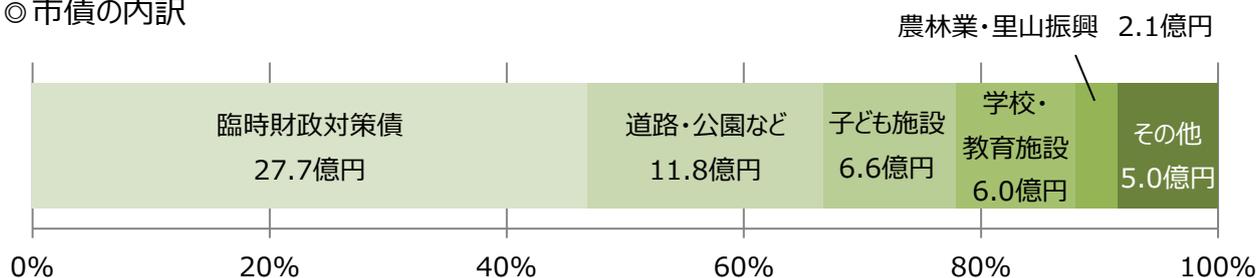
・その他の収入

・分担金及び負担金（保育料など）	1億2,419万円	↗
・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など）	5億7,498万円	↗
・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など）	1億 614万円	↗
・繰入金（基金からの繰り入れ）	11億8,069万円	↗
・繰越金（前年度からの繰り越し）	1億6,152万円	↗
・寄附金（個人版・企業版ふるさと納税など）	2億 623万円	↗
・諸収入	19億5,539万円	↗

Q. 借金をするのはなぜ？

道路や学校などの公共施設の整備には一度に多額の経費がかかります。そのお金を整備する年度の予算だけを使った場合、施設は長く使われるのに整備に必要なお金は、その時の市民だけが負担することになってしまいます。長期に借入れる借金には、将来施設を利用する市民の税金で支払うことにより、世代間の負担を公平にするという役割があります。

◎市債の内訳



4. 予算は何に使うの？

義務的経費

人件費	60億5,314万円	➡
扶助費	114億2,939万円	➡
公債費	62億960万円	➡
小計	236億9,213万円	➡

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者，高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

一般行政経費

物件費	63億21万円	➡
補助費等	42億3,048万円	➡
維持補修費	2億9,395万円	➡
一部事務組合負担金	1億3,362万円	➡
上下水道・病院への交付金	28億7,688万円	➡
小計	138億3,514万円	➡

施設の維持管理費や，行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費 …光熱水費や消耗品費，通信費など
- ・補助費等…特定の事業や研究を行う公益団体に対する補助金など
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市分の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から，費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

投資的経費

普通建設事業(補助)	33億5,790万円	➡
普通建設事業(単独)	38億127万円	➡
小計	71億5,917万円	➡

道路や公園，防災・減災対策など，建設事業にかかる経費

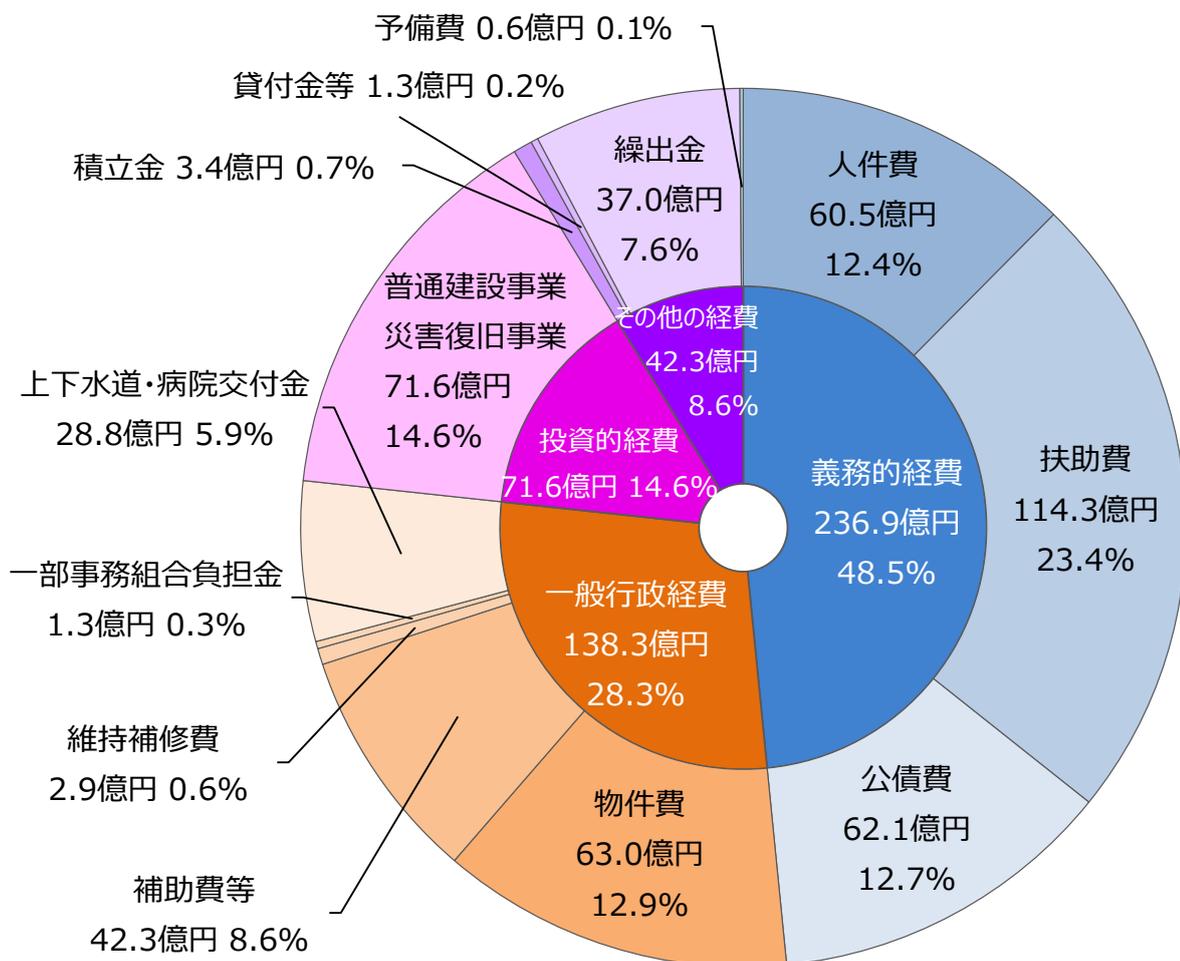
その他の経費

積立金	3億3,571万円	➡
投資及び出資金	993万円	➡
貸付金	1億2,136万円	➡
繰出金	37億65万円	➡
予備費	6,000万円	➡
小計	42億2,766万円	➡
合計	489億1,410万円	➡

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費
国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療等の社会保障にかかる特別会計への負担経費
- ・予備費…災害など緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

Q. 一般会計の支出の内訳は？



ポイント！

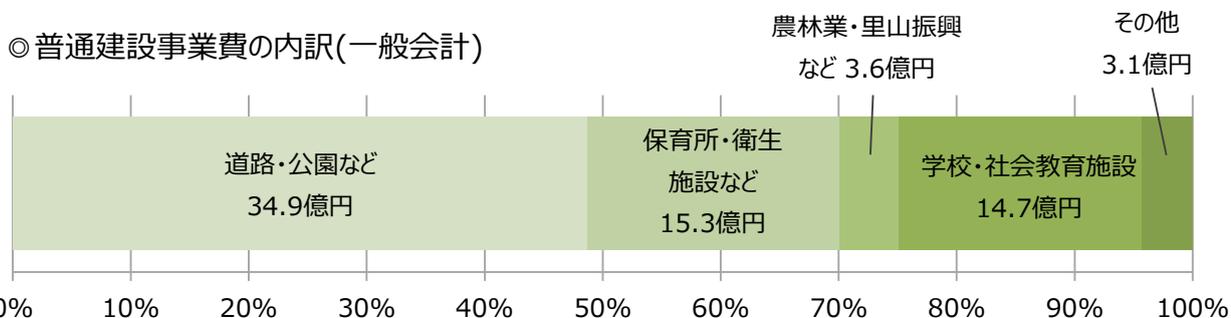
- 義務的経費は、前年度比14億円の増となっています。
認定こども園の運営や、障がい者自立支援費など、社会保障にかかる扶助費が7.3億円の増となったほか、ほっと石川観光ファンドに出資するために借りていた市債償還のため公債費が4.4億円の増となりました。
- 一般行政経費は、前年度比12.2億円の増となっています。
開学4年目となる公立小松大学への運営費や栗津駅の連絡通路整備に向けた予備設計、また新型コロナウイルス感染症対応での個人や事業者への給付、ホストタウンとしての感染予防等、物件費や補助費が大きく増加しました。



①普通建設事業費

北陸新幹線小松駅開業に向けて進められているJR小松駅舎や東西広場の整備，こまつドームの改修，木曽町市営住宅跡地に建設される地域優良賃貸住宅整備などにより，前年度比3.4億円の増となっています。

特別会計・企業会計を加えた全会計の建設事業費は，前年度比3.4億円の減となっています。

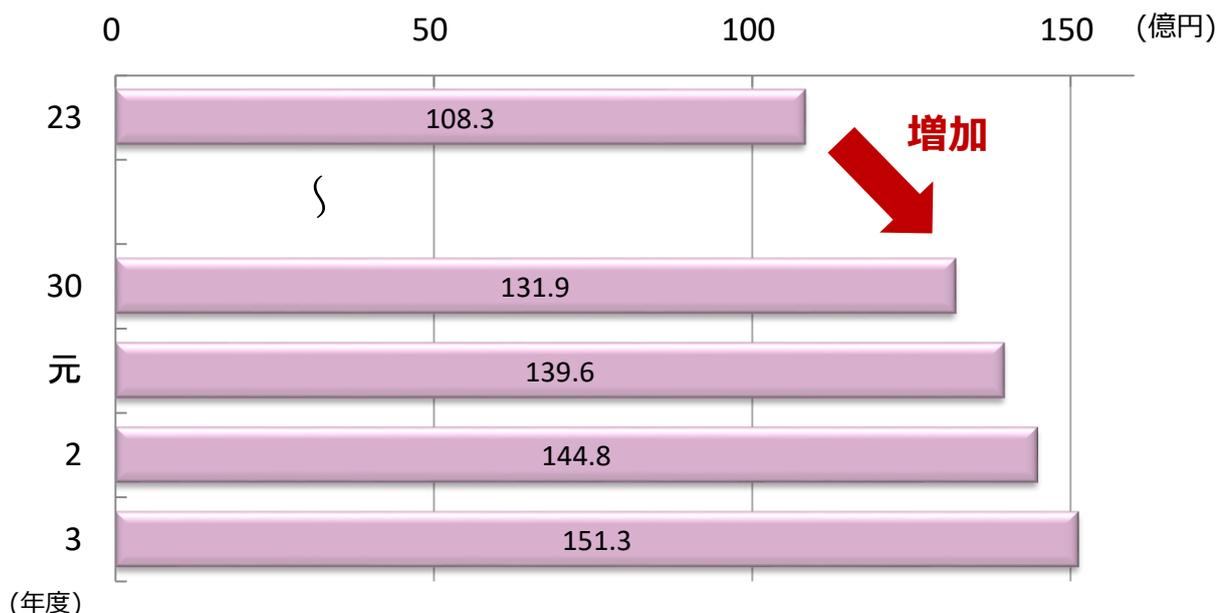


②社会保障費

少子・長寿社会の進展により，社会保障費は年々増加傾向にあり，10年前と比べると43億円増加しています。

平成27年度から実施されている「子ども・子育て支援制度」による認定こども園の増加，令和元年10月に実施された幼児教育・保育無償化に伴う保育料見合い分の交付などによる私立認定こども園・保育所等運営費の増加，障がい者福祉費の増加，介護保険や後期高齢者医療への繰出金の増加などにより，本年度の社会保障費は151.3億円となっています。

◎社会保障費の推移

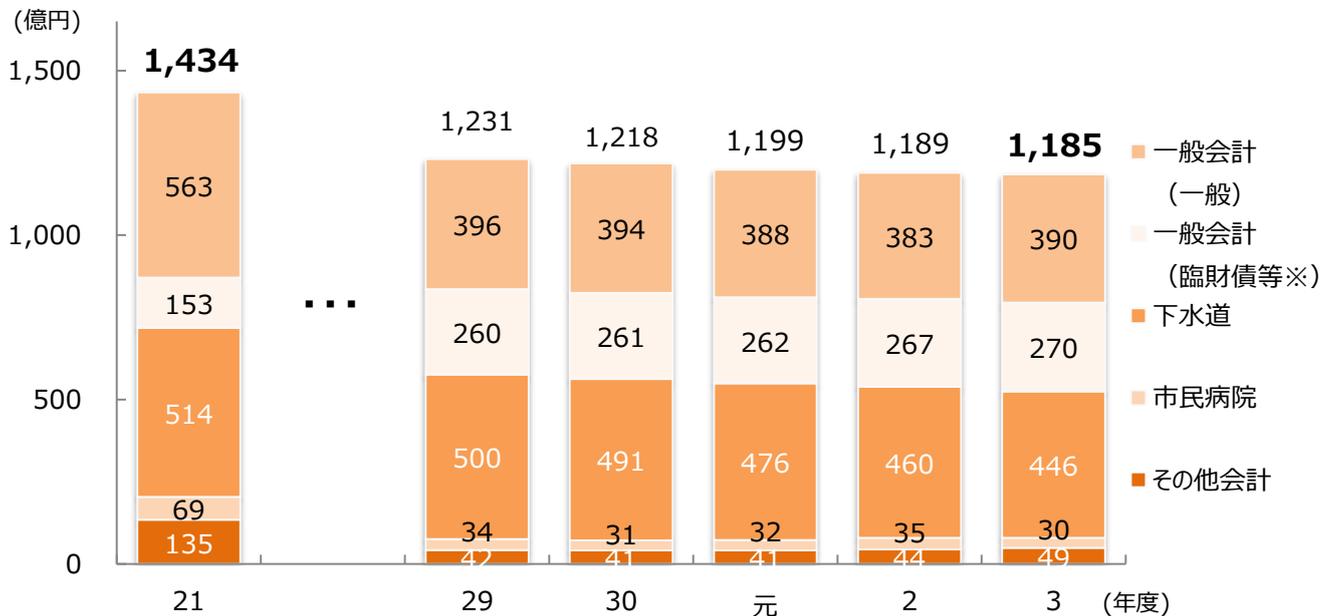


※令和元年度までは決算額，2年度は決算見込額，3年度は予算額

5. 借金（市債）はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、大型事業の償還完了や繰上償還の実施により減少しています。令和3年度末の市債残高見込は、全会計で約1,185億円、臨時財政対策債等を除く実質市債で915億円となっています。

今後も財政健全化を図り、将来負担のさらなる軽減に努めていきます。

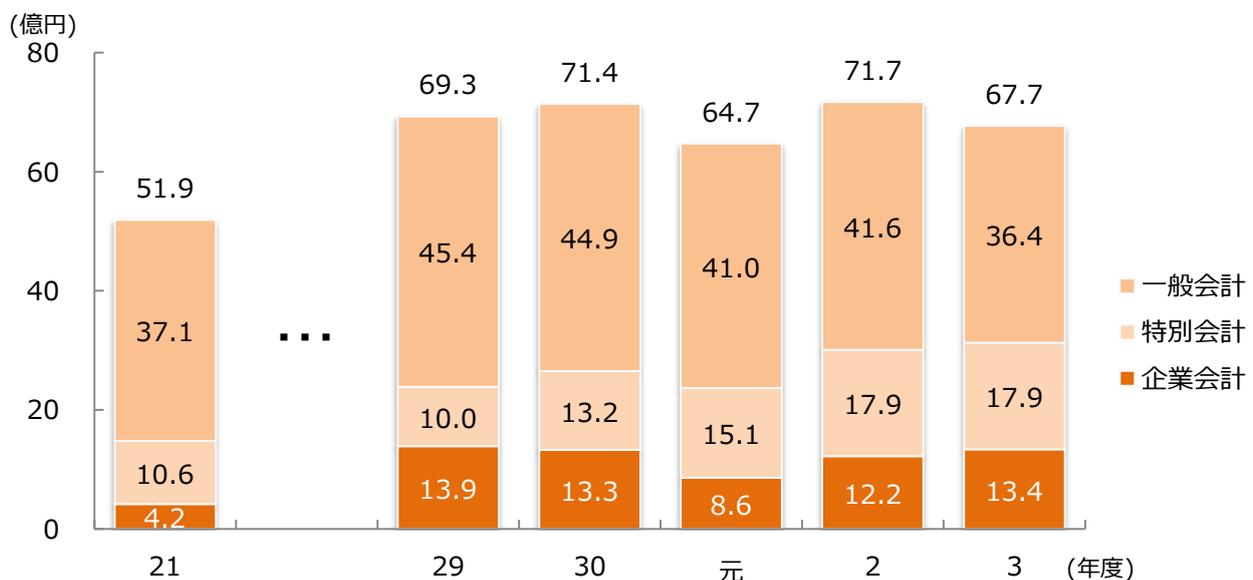


※平成29年度より、公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計を統合し、下水道事業会計となっています。

6. 貯金はいくらあるの？

令和2年度末の貯金残高は全会計で71.7億円となっています。一般会計では、新型コロナウイルス感染症対策の財源として活用するほか、財源の年度間調整、SGDsの推進や子ども・障がい者・高齢者等の福祉の増進、スポーツ振興などに活用するため、貯金額は36億円余りとなる見込みです。

今後も、借金の減少と合わせて突発的な財政需要に対応できるよう貯金の確保に努めていきます。



※令和元年度までは決算額、2年度からは決算見込額

7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？

小松市の市民一人当たりの市税負担額は、134,772円です。これに、市税以外の収入(P3参照)を加えると、市民一人当たり454,043円の事業を行えることとなります。

それでは、どのような目的で予算が使われているか見てみましょう。

一人あたりの市税負担額と予算の使い道

【メモ】

①人口(令和3年1月1日現在)	107,730人
②市税予算額	145.19億円
③市民一人当たり市税負担額 = ②÷①	134,772円
④歳出予算額	489.141億円
⑤市民一人当たり歳出予算額 = ④÷①	454,043円



【予算の使い道】

こども・障がい者・高齢者の福祉など	164,548円
道路・公園整備など	65,978円
借金の返済	57,640円
学校教育の充実、文化・スポーツ振興など	66,370円
健康増進・ごみ処理など	28,802円
庁舎などの維持管理、戸籍・税金の事務など	31,429円
消防や防災対策など	12,351円
農林水産業・商工業振興や観光交流など	22,946円
その他	3,979円
計	454,043円

ポイント！



こども・障がい者・高齢者などの社会福祉に必要な経費が全体の約3分の1を占めています。学校教育の充実、文化・スポーツ振興に要する経費や道路・公園整備に要する経費がこれに続きます。

借金の返済額は高い割合を占めていますが、年々減少傾向にあります。借金の残高や固定的な経費を圧縮し、皆さんのサービス向上に繋がる施策を展開しています。

8. 主な施策の概要



令和3年度の主な事業をテーマ別にお知らせします。

THEME

1 子どもたちの未来が光り輝くまちへ



》 お父さん・お母さんが幸せを感じられるように

◇ <u>コロナ禍において高校進学に励む中学3年生を対象に2学期から給食無償化を実施</u>	
学校給食無償化推進費(中3)	4,200万円
◇ <u>出欠連絡、お便り等、デジタル連絡ツールを導入</u>	
学校・家庭間デジタル化推進費	240万円
◇ <u>将来子供を望む夫婦に対し、無料で健診と健康教育を実施</u>	
いしかわプレ妊活健診助成費	180万円
◇ <u>多胎妊婦の健診費用への助成を拡充</u>	
妊産婦・乳児健康管理費	1億1,620万円

》 子どもたちの成長のために

◇ <u>全小中学校を対象に学校施設環境を充実</u>	
安全・安心な学校づくり費	7,700万円
◇ <u>タブレット端末更新に向けた積立て(5年計画)</u>	
未来教育推進基金積立金	4,000万円
◇ <u>R4年度開設に向けた新施設の建設</u>	
松東地域こども園整備費	4億2,294万円
のしろ児童館整備費	4億3,890万円
国府児童クラブ施設整備費	1億3,000万円
◇ <u>AI学習コンテンツ、GIGAタブレットの活用</u>	
ICT教育環境推進費	1億3,180万円
市立高校活性化推進費	940万円
◇ <u>移転・老朽化等による認定こども園・学校の改築・改修</u>	
私立こども園等施設整備費補助金	1億2,780万円
小学校校舎等改修費	1億9,340万円+[債務負担行為8,700万円]
中学校校舎等改修費	1億780万円+[債務負担行為1億1,950万円]
市立高校改修費	1,300万円
◇ <u>松東みどり学園スクールバスを更新</u>	
スクールバス購入費	2,100万円





》暮らしをもっと楽しく、誰もが輝けるように

◇未来型図書館のあり方等を調査・研究	
未来型図書館調査研究費	100万円
◇町内会でのICTツールの活用を支援	
町内会デジタル化支援費	100万円
◇オンライン型の運動指導やケアマネジメントツールの導入	
高齢者フレイル予防デジタル化推進費	200万円
◇持続可能な里山づくり	
SDGs未来都市推進費	1,590万円

》持続的な地域づくりを

◇多様性を尊重、誰もが活躍できるまちを目指したプランづくりに向けて	
共生のまち推進費	160万円
◇コミュニティの核となる施設の建設・改修や活動支援	
はつらつまちづくり推進費	3,880万円
学習等供用施設建設費	7,100万円
こまつドーム改修費(コミュニティ棟)	4億9,600万円
◇子ども・障がい者・高齢者・生活困窮者等の総合的・一体的支援	
重層的支援体制整備	2億5,995万円
◇時代と住民のニーズに合わせた墓地整備	
合葬墓・納骨堂整備費	3億9,100万円
◇血液内科新設(入院治療用病床整備)設計、相談ブース改修	
市民病院施設整備事業(企業会計)	1,800万円



》安全・安心のまちづくり

◇全分団の防火衣を更新	
消防団活動装備強化費	1,250万円
◇スマホ等を活用した映像通報システムの導入	
119映像通報システム整備費	50万円

◇災害現場・鳥獣対策活動の機能向上と効率化	
高機能ドローン整備費	600万円
◇地域の消防施設の機能強化(河田館町)	
耐震性貯水槽設置費	1,300万円
◇消防団運営交付金、消防団員年報酬の引上げ	
消防団運営費	6,910万円
◇地域の電柱等にまるごとまちごとハザードマップを設置	
防災体制強化費	2,650万円
◇クマ対策プラン・こまつモデルの取組みを推進	
鳥獣害対策費	3,240万円
◇空調設備の新設、アリーナ床改修、LED化等	
小松総合体育館改修費補助金	8,850万円+[債務負担行為2億650万円]
◇小松屋内水泳プールの安全対策, 設備等改修	
小松屋内水泳プール改修費	2億600万円



》 新型コロナウイルス感染症対策の充実

◇施設のPCR検査費等を助成、簡易検査キットを備蓄	
感染症予防対策費	1,500万円
◇新たに妊娠した方に赤ちゃん1人あたり5万円を給付	
新生児特別定額給付金	1,100万円
おなかの赤ちゃん特別給付金費	3,850万円
◇市民税非課税世帯に高齢者1人あたり1万円を給付	
高齢者食生活支援特別給付金費	9,120万円
◇子育て世帯に子ども1人あたり1万円を給付	
こまつ子育て応援特別給付費	1億7,300万円
◇所得が低い子育て世帯に子ども1人あたり5万円を給付	
子育て世帯生活支援特別給付金費	1億5,730万円
◇コロナ禍で影響を受けた生活困窮者への支援	
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金費	4,880万円
◇電子マネーを活用した商品券発行(プレミアム率100%)	
プレミアム付商品券発行費	2億6,500万円
◇売上が減少した事業者を支援、飲食業等の創業支援制度を創設等	
新型コロナウイルス感染症経済対策費	3億500万円
◇患者搬送等の救急業務における感染防止対策の強化	
救急業務感染症対策費	500万円

◇子ども・高齢者に係る予防接種の自己負担軽減 予防接種費	3億9,557万円
◇18歳未満の国保税の軽減 国民健康保険税軽減措置(特別会計)	2,000万円
◇青少年に部活動等の集大成発表の機会を提供 KOMATSU SPORTS CHAMPION支援費	240万円
未来へつなぐ音楽振興費	240万円
◇事前合宿に係るPCR検査・空席確保等の感染症対策 ホストタウン新型コロナウイルス感染症対策費	1億1,910万円



THEME
4

**新幹線駅・空港・交通インフラを活かし、
力強く成長する産業都市へ**



》 新幹線小松開業に向けて

◇駅舎整備等への負担金 北陸新幹線建設推進費	1億5,200万円
◇駅プロムナード実施設計、東口広場を整備 小松駅ターミナルプラン推進費	8億5,410万円
◇駅舎・高架下施設内の展示作品の制作を開始 新幹線小松駅「こまつの美」展示費	5,000万円
◇小松駅-空港間自動運転バスの導入調査、小松版MaaSの構築 次世代型地域交通推進費	1,200万円
◇加賀立国1200年に向けた環境整備(河田山古墳群史跡資料館、石部神社周辺等) 加賀国府こまつ歴史の里整備費	1,000万円

》 交通インフラのさらなる充実

◇東西連絡通路と駅東西広場の整備(予備設計等) 粟津駅周辺整備費	2,000万円
◇R4年度に完成予定 幸八幡線整備費	2億800万円
◇龍助町~西町区間 整備完了(H27~R3) 北国街道無電柱化推進費	7,700万円
◇幹線道路や生活道路等の基盤整備を促進 緊急社会基盤整備費(道路・水路)	5,000万円
公共下水道整備事業(企業会計)	9億454万円

》 稼げる産業づくり

◇ <u>企業誘致で産業創出とにぎわいを</u> たくましい産業推進費(企業立地助成金)	1億6,000万円
◇ <u>リモートワークなど多様な働き方に対応</u> サテライトオフィス立地推進費	1,000万円
◇ <u>業務のレベルアップや効率化に向けた取組みを支援</u> 産業競争力強化費(経営モデルチェンジ事業)	2,450万円
◇ <u>造成工事に着手し、R4年度に工事完了予定</u> 安宅新地区土地区画整理費(特別会計)	7億4,900万円
◇ <u>幹線道路(市道安宅新町1号線)を整備</u> 安宅新地区土地区画整理費(一般会計)	2億円
◇ <u>小松市産特別栽培米を学校給食に提供</u> 地産地消・食育推進費	200万円
◇ <u>就農(園芸)研修生への支援で担い手を確保</u> 農業担い手育成費	240万円

》 魅力的な地域資源づくり

◇ <u>能美市と連携した九谷焼のブランド化</u> こまつ五彩ブランド推進費	3,170万円
◇ <u>11/13(土)~14(日)に開催予定</u> 日本遺産サミット開催費	2,400万円



THEME

5 新しいまちづくりへの挑戦を



》 適正な行政運営と民間パワーの活用

◇ <u>電子申請システムなど市民や市役所のデジタル化を推進</u> スマート市役所推進費	5,430万円
◇ <u>3D設計の拡充、ドローン技術者養成、公共工事事務RPA化等</u> 3D-CAD活用推進費	715万円
◇ <u>積算業務の効率化と入札業務の信頼性を向上</u> 建築積算システム導入費	160万円
◇ <u>下水道施設の維持管理業務の民間委託を拡大</u> 下水道施設維持管理事業	[債務負担行為10億5,900万円]

6 その他

◇デジタル化による映像・音声機能の向上、カメラ増設 議場システム整備費	220万円
◇マイナンバー発行経費の増加(国100%補助) 住民基本台帳システム運営費	5,740万円



令和3年度小松市予算のあらましについて

もっと詳しく
知りたい方は…

[発行]令和3年7月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL: 0761-24-8144 (直通) FAX: 0761-24-8190
メール: zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP: <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>